

小林市議会「市民との意見交換会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	南小学校区	担当班	議員名	担当
参加人数	20人		高野 良文	司会進行
開催日	平成30年7月11日(水)		杉元 豊人	活動報告
開催時間	午後7時～午後8時30分		穴見 嘉宏	記録・報告書作成
会場	KITTO 小林2階交流スペース		鎌田 豊数	記録・報告書作成
その他		4班	西上 隆	会場準備・受付

◎班代表者 杉元 豊人

意見交換会の内容		※ <input type="checkbox"/> 市民の意見	■議員の意見
テーマ	「観光で稼ぐには」・「プラごみの出し方について」		
【意見交換の概要】			
<p><b>テーマ：観光で稼ぐには</b></p> <p><input type="checkbox"/>観光DMOについて市民はあまり理解できてない。事業費 9,100 万円が計上されているが具体的にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>■具体的な取り組み内容は、(1)食と農の魅力創生事業委託(地井シェフが市内店舗で開業されたことにより、観光客の誘致、児童生徒への食育活動の実施、生産者への販路拡大等のアドバイス等)(2)工事請負費(外国語表記等に対応した案内看板の設置)(3)DMO推進事業費補助(マーケティング、観光動向調査、プロモーション等への補助)(4)DMO運営事業費補助(小林観光推進協議会、観光DMO事業局補助)である。</p> <p><input type="checkbox"/>フランス料理店に補助金が出されたが不公平感がある。地元の既存の飲食店を盛り上げるの方が大事ではないか。食と農の魅力創生事業の目的に沿った展開が必要。</p> <p>■小林市の豊かな食材を活用して、都市部のレストランなどでの活用の可能性を探り、販路拡大につなげるという目的もある。皆さんの思いを受け止めて、今後、議会でもしっかりと議論していく。</p> <p><input type="checkbox"/>市内にある観光資源の実態の調査ができているのか。</p> <p>■各観光地の入れ込み観光客数や訪れた方々の実態調査は定期的に行われているようだが、小林市観光推進協議会も設立されたので、今後さらに調査が進むことを期待している。</p> <p><input type="checkbox"/>観光地のトイレの洋式化をお願いしたい。</p> <p>■一般質問や委員会審議で当局に提案・要望している。今後も引き続き取り上げていく。</p>			

## テーマ：プラゴミの出し方について

- 現在、プラゴミの出し方について議会ではどのような議論がなされているのか。
- 調味料などの小さなプラゴミについては、焼却でいいのではないかとか、ごみ分別の簡素化など議論し当局に提案・要望している。
- ごみ分別のルールに合わないものの処理に苦労している。分別をしていない人へ「ごみ分別虎の巻」に手紙を添えて渡したら改善したが、組加入していない人へのごみ分別の説明は、もっとしっかりやってほしい。
- 区長や係の方の努力には感謝している。要望に関しては当局に伝える。資源やエネルギーを大切に、また環境保全を目的にリサイクルに取り組んでいる。ごみの分別がネックになって移住定住に影響が出ている面もある。議会としてもプラゴミに限らずごみ分別に関しては最善の方法を模索し、当局に提案していく。
- 組に入っていない人はどのように出しているのか。アパートの入居者は事業系ごみとして出している。個人でも事業系ごみとして出せないのか。
- 生活ごみが事業系ごみとして出されている実態は確かにあるが、事業系ごみとして出してはいけないことになっている。様々な課題があるが市民の負担軽減につながる方法を議会としても議論していく。

### 自由意見の交換

※□市民の意見 ■議員の意見

- 西町松栄から宮内葬儀社の間は歩道と車道の区別がない。
- この区間は国道である。改良計画はあるが時期は未定とのことである。
- 南小から押川酒店までの通学路にガードレールがなく危険。
- この区間は国道であるので、市から県に申し入れするとのことである。
- 新生町の歩道はガタガタしており高齢者は押し車で通りにくい。
- 要望は当局に伝えた。市道の改良は評価基準に基づいて年次的に進められている。
- 辻の堂川周辺は防災マップに載っていないのはなぜか。
- 氾濫危険区域ではないため防災マップには載っていない。想定外のことも考えられる今後、議会で議論していく。
- J R 吉都線の都城方面からの3時の便がなくなって高校生が困っている。
- 要望は当局に伝える。
- 地域防犯灯の電気代が負担になっているところがある。補助ができないか。
- LED化で電気代はかなり削減できる。3分の2の設置補助もあるので活用してほしい。

まち協などの活動で住民が自由に使える集会所を、空き店舗や閉鎖した幼稚園などを活用できないか。

■元気なまちづくり補助金（自己負担10%）を活用できるので、校区で議論して市に要望していただきたい。

空き店舗活用助成金は本町のみで通り町は対象になっていない。なぜ対象にならないのか。

■中心市街地活性化のための助成金であるため、通り町は対象区域外になっている。